

特別支援教育専攻

募集人員
30名

多様性を理解し、子どもの個性を見つめる。

特別支援教育専攻では、一人ひとりの子どもの特性を理解し、特別な配慮を実践できる教員を目指します。特別支援学校、あるいは小・中学校の特別支援学級の教員として、一人ひとりの子どもの特性に対応した指導・支援を工夫していきける力を培っていきます。特別支援教育専攻では、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱の5領域の教員免許状を取得できます。また、その基盤として小学校の教育に関するカリキュラムを位置付けています。

詳細はコチラ



〔 4年間の学び 〕

1、2年次には、特別支援教育の概論のほか、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱の5領域すべての障害について、指導法や心理・生理・病理学等を広く学びます。3年次からは、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由の4領域から一つの領域を選択し、学びを深めていきます。また、特別支援学校、小学校、福祉施設等の学外実習等を通して、実践力を高めます。下の写真のように附属特別支援学校と大学をテレビ会議システムで結び、リアルタイムで授業を見ることができるといった環境も整備されています。



撮影用タブレット端末

附属特別支援学校での動画撮影の様子



コンサルタント

動画視聴をしながらコンサルテーションの様子

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】
特別支援学校教諭一種免許状
小学校教諭一種免許状

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】
中学校教諭二種免許状^(※)
幼稚園教諭二種免許状

※入学手続き時に行う意向調査（中学校教諭二種免許状の希望教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）に基づき、大学が決定します。できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。



「子どもキャンパスプロジェクト」を通じた子どもとのかかわり



動作法・月例会での研修の様子



視覚障害領域のアセスメント(演習)

先輩 Voice

学校教員養成課程 特別支援教育専攻 4年
私立安城学園高等学校出身



障害種ごとの体験的な学びと 「引き出し」を増やす支援力で 一人ひとりに寄り添う特別支援教員を目指す

5領域すべての障害種について、演習を通じて学べる点に大きな魅力を感じます。点字を打ったり、手話を用いて「朝の会」を行ったり、知能検査を体験したりなど、演習形式の授業が豊富で、実際に取り組むからこそ得られる気付きが多く、より具体的な支援方法を考えることができます。肢体不自由領域の「動作法」にも関心があり、動作法月例会への参加や演習形式の授業を通して、身体の動かし方や人との関わり方について理解を深めています。幅広い知識や支援方法、スキルを身につけて「引き出し」を増やし、現場で出会う子ども一人ひとりに合った手立てを実践できる教師を目指しています。

■ 私の時間割 (2年生前期)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等家庭科教育内容A	国語学概説Ⅱ	初等国語科教育法B	初等体育科教育内容A	ポルトガル語Ⅱ
2時限	初等英語科教育内容A	点字の基礎	初等生活科教育法A	聴覚障害者心理・生理概論	漢文学A
3時限	教育システム論	英語コミュニケーションⅡ	この時間を使って「学校体験活動」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	書道演習Ⅱ	病弱者の教育課程・指導法
4時限		知的障害者心理・生理概論			国文学演習AⅡ
5時限					